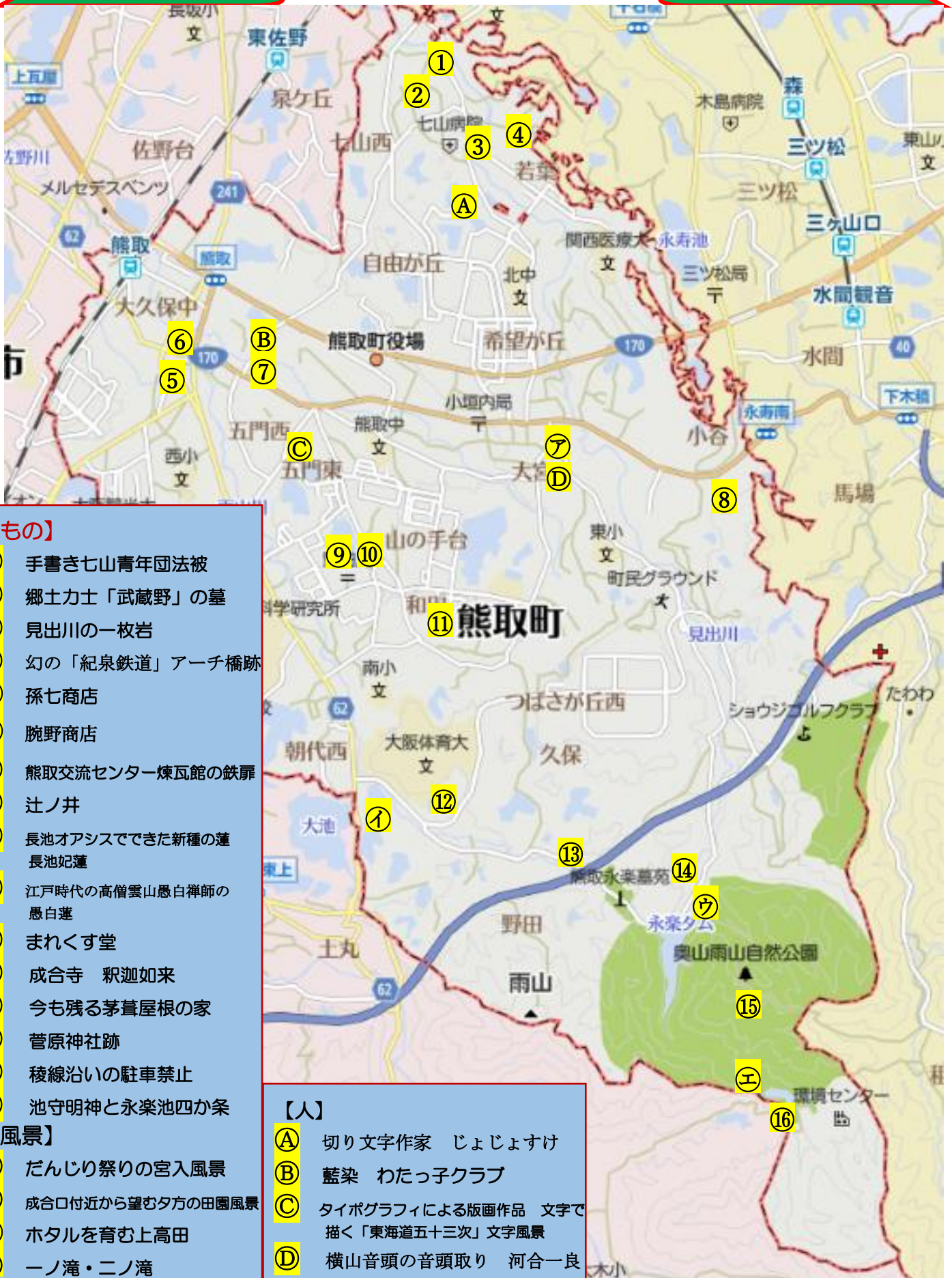


# くまとい世間遺産マップ



## 【もの】

- ① 手書き七山青年団法被
- ② 郷土力士「武蔵野」の墓
- ③ 見出川の一枚岩
- ④ 幻の「紀泉鉄道」アーチ橋跡
- ⑤ 孫七商店
- ⑥ 腕野商店
- ⑦ 熊取交流センター煉瓦館の鉄扉
- ⑧ 辻ノ井
- ⑨ 長池オアシスでできた新種の蓮  
長池妃蓮
- ⑩ 江戸時代の高僧雲山愚白禅師の  
愚白蓮
- ⑪ まれくす堂
- ⑫ 成合寺 釈迦如来
- ⑬ 今も残る茅葺屋根の家
- ⑭ 菅原神社跡
- ⑮ 稜線沿いの駐車禁止
- ⑯ 池守明神と永楽池四か条

## 【風景】

- ㉞ だんじり祭りの宮入風景
- ㉟ 成合口付近から望む夕方の田園風景
- ㊱ ホタルを育む上高田
- ㊲ 一ノ滝・二ノ滝

## 【人】

- ㊳ 切り文字作家 じょじょすけ
- ㊴ 藍染 わたっ子クラブ
- ㊵ タイポグラフィによる版画作品 文字で  
描く「東海道五十三次」文字風景
- ㊶ 横山音頭の音頭取り 河合一良

## くまとり世間遺産【もの】

	名称	所在地	推薦理由
①	手書き七山青年団の法被	熊取町七山北 山中弘宗様宅	昭和40年代にだんじり祭りで使用されていた（おそらく）初代のネーム入り法被
			
②	郷土力士「武蔵野」の墓	熊取町七山 3-1109 三ヶ字墓地	郷土力士と思われる力士の墓で、昭和23年12月に有志により建立された。 初土俵等詳細は不明。
			
③	見出川の一枚岩	熊取町七山東 847付近	谷川橋下にある、長さ約30m、幅約7~8mの巨大な一枚岩
			



④	幻の「紀泉鉄道」アーチ橋跡 令和3年度認定	熊取町七山北	貝塚市清見駅から和歌山県粉河町（現 紀ノ川市）を結ぶ予定だった幻の紀泉鉄道。残念ながら開通には至りませんでした。そのアーチ橋跡が今も残っています。
---	--------------------------	--------	---



⑤	孫七商店 令和3年度認定	熊取町大久保中3丁目	80年余り、地元に着して日常生活食品を販売する商店。Instagramでも紹介されるレトロ感満載の店舗で、町外からも多くの方がやってきます。だんじり祭りの時や平日に不定期で販売されている「おでん」は絶品です。
---	-----------------	------------	--



⑥	腕野商店 令和3年度認定	熊取町大久保中	古くから熊取の日用雑貨物流を担って、現在もお客様からの依頼に合わせた商品のお届けを続けておられる。店構えが懐かしの映画の一コマの様で心温まるたたずまいである。店の角にはこちらも昔懐かしい丸ポストあり！ちょっとした撮影スポットになっている。秋のだんじり祭では「大久保東交差点のやりまわし」が店の前という立地で、地車とのフォト相性も最高である。いつまでもこのレトロな風景が残ってくれることを祈りたい。
---	-----------------	---------	--



⑦	熊取交流センター煉瓦館の鉄扉	熊取町五門西 1-10-1	<p>渋谷すばる・二階堂ふみ主演の映画「味園ユニバース」(製作年:2015年 山下淳弘監督)の1シーンとして、熊取町の煉瓦館がロケ地として選ばれ、映画ファンの記憶に残る名シーンが撮影され、この映画を通して、全国的に熊取町がPRされた。</p> <p>この映画にとって中心的な名シーンとなっているオープニングの刑務所のシーンにおいて、煉瓦館の鉄扉が使われたもので、本町における映画のロケ地として、推薦します。</p>
---	----------------	------------------	---



⑧	辻ノ井	熊取町小谷南 3-9-40 興蔵寺内	<p>弘法大師の痕跡は多々ありますが、この井戸はちょっとありがたさが違う！</p> <p>のどが渇いた弘法大師が村人からもらった水に感謝して、地面を杖で突いたところ、そこから水が湧き出したという言い伝えがある有難い井戸。今まで枯れたことがないといわれています。</p>
---	-----	--------------------------	--





<p>⑨</p>	<p>江戸時代の高僧 雲山 愚白禅師の愚白蓮</p>	<p>熊取町長池</p>	<p>熊取町の文化人であった中盛彬が書いた地域の見聞録「拾遺泉州志（かりそめのひとりごと）」に江戸時代前期に熊取にいた高僧雲山愚白禅師にまつわる話があります。このことにちなみ愚白禅師生誕 400 年を記念して、2019 年に昔から熊取に咲いていた地元の白蓮を愚白蓮（ぐはくれん）と命名しました。</p> <p>文献によると愚白禅師は当時の名だたる高僧のうちの一人であり、日本中から禅師の講話を聴くために、多くの僧が熊取を訪れたとあります。地元の偉人を顕彰することにより、地元の歴史や文化への関心を高め、郷土愛を育むことに繋がると思いました。</p>
<p>令和 3 年度認定</p>			 
<p>⑩</p>	<p>長池オアシスでできた 新種の蓮 長池妃蓮</p>	<p>熊取町長池</p>	<p>整備当初、長池オアシスの水生植物体には二種類の蓮、舞妃蓮と漁山紅蓮が植えられていました。この二つが自然交配し、新種の蓮ができました。全体的に丸みを帯びた濃いピンクの花びらで、三日目には退色してクリーム色となります。2012 年京都花蓮研究会の金子明雄先生に命名してもらいました。鉢では花が咲かず、現在長池オアシスの水生植物帯でしか花を見ることができません。</p> <p>伝統的な親である舞妃蓮は、アメリカの黄花ハス「王子蓮」と日本の「大賀蓮」を交配して作り出した品種ですので、長池妃蓮は大賀蓮の孫ということになります。長池オアシスでしか見ることのできない貴重な花蓮であるため、毎年町外からも多くの方が長池オアシスを訪れています。</p>
<p>令和 3 年度認定</p>			

⑪	まれくす堂	熊取町南山の手台 23	<p>中盛彬の著書「かりそめのひとりごと」にまれくす長者の話があり、江戸時代（天保年間）にその古い言い伝えがわかる、お堂と地蔵。</p> <p>和田区の人々により伝統的に参り、保存がされています。</p>
---	-------	-------------	--



くまとり写真館  
(昭和 10 年頃)  
熊取町ホームページ

⑫	成合寺 釈迦如来	熊取町大字野田	<p>火災で焼失してしまったと思っていた成合寺。本堂はありませんが地元消防団によりご本尊様の釈迦如来像は助けられ、小さな祠の中に保存されています。とても美しい釈迦如来像で思わず手を合わせました。</p>
---	----------	---------	---



⑬	今も残る茅葺屋根の家	熊取町成合東 184	<p>熊取町成合東、西方寺の近くに今でも残る茅葺屋根の家。敷地内に別棟があります。</p> <p>茅葺屋根の家は真夏でエアコンがなくても涼しく、快適に過ごせると言われています。ぜひいつまでも残っていて欲しい建造物です。</p>
---	------------	------------	---





<p>⑭</p>	<p>菅原神社跡</p> 	<p>熊取町高田</p>	<p>明治時代に大森神社に合祀された神社のひとつである「菅原神社」は跡地しか残っていませんが、祭殿がなくなってぽっかりと空いたその地は、今もひっそりと木々に囲まれています。その場に立つと神仏がおわした頃のまま凜とした空気を発しているのを感じます。残念ながら、同時期に合祀された金堂神社の跡地や牛神社は今では場所の確認ができないそうです。</p>
<p>⑮</p>	<p>稜線沿いの駐車禁止</p>	<p>奥山雨山自然公園内</p>	<p>奥山雨山自然公園のハイキングコース、稜線沿いに歩くと消火栓があります。よく見ると車も通れないのに「駐車禁止」の文字が入っています。</p>    
<p>⑯</p>	<p>池守明神と永楽池四か条</p>  	<p>奥山雨山自然公園内</p>	<p>昔の面影を残す自然豊かな地域で奥山雨山自然公園の奥に位置します。永楽ダム水源である永楽池を造った際に地蔵様を祀って池の安泰を願いました(池守明神)。そして先人たちによって「永楽池四か条」が発せられ、皆が争わず大切な水を共有するよう、牛神座など共同で農作業に当たったそうです。</p>  

## くまとり世間遺産【風景】

	名称	所在地	推薦理由
㊦	だんじり祭りの宮入 風景	熊取町小垣内3丁目4-15 大森神社	各地区の地車11台が順次、神社境内の中央舞台の周りを2回と半周回した後に、宮司のお祓いを受けます。上手に走り終わると詰めかけた見物客から拍手が送られます。お祓いを受けた後境内の指定場所に待機して、全台が揃ったところで、一斉に鳴り物披露を行い境内から順次退場し、町内へと繰り出します。境内の舞台を中心に二週半走る宮入は、他では見られない熊取町独自の風景です。



㊦	成合口付近から望む 夕方の田園風景	熊取町成合	昭和時代を今も残す風景で、熊取に引っ越してきてい つも感動した場所です。
---	----------------------	-------	---





㊦

ホタルを育む上高田

熊取町高田



旧街道の名残が里山の縁に今も残っている上高田には、住民の方々のくらしがあります。そしてゲンジボタルを育む豊かな自然が今も溢れています。田んぼを潤す見出川に山から流れ込む湧き水の源にはプラナリアがいます。このゆったりとした静かな農村風景が、熊取の誇りだと感じます。



プラナリア：きれいな環境さえあれば生きる川や池など淡水にすむ生物



㊧

一ノ滝・二ノ滝

奥山雨山自然公園

奥山雨山自然公園の「東ハイキングコース」にある、一ノ滝、二ノ滝。

夏の酷暑の時に水が枯れずに流れています。



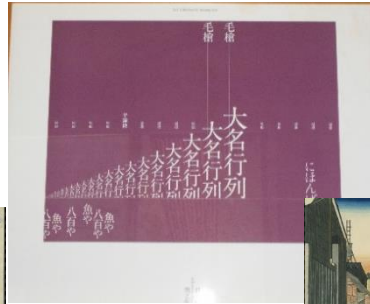
くまとり世間遺産【人】

	名称	所在地	推薦理由
<p>①</p>	<p>切り文字作家 じょじょすけ</p> <p>令和3年度認定</p>	<p>熊取町自由が丘</p>	<p>パリで開催された Japan Expo2019 にも出演。ハサミで文字を繋げて切る、切り文字作家。熊取町の観光大使にも就任されています。</p>
			
<p>②</p>	<p>藍染 わたっ子クラブ</p>	<p>熊取町五門西 煉瓦館内</p>	<p>昔、藍染の染物屋（紺屋）さんがたくさんあったということで、紺屋という地区名になったといわれている。 藍染とその原料の藍を守り続けてきている、わたっ子クラブの人々。</p>
			
<p>③</p>	<p>タイポグラフィによる版画作品 文字で描く「東海道五十三次」文字風景</p>	<p>熊取町五門西 信貴 <small>すずみ</small> 奨</p>	<p>グラフィックデザイナーとして主にシンボルマーク、ロゴタイプデザイン、パッケージデザインの制作活動。 「広重の東海道五十三次」文字風景を1984年発表。'85年「東京展」、'87年「大阪展」と発表。 1991年にはタイポグラフィ作品を高く評価され大阪広告協会より「サントリー奨励賞」を受賞。</p>





浜松



日本橋



① 横山音頭の音頭取り河合一良

令和3年度認定

熊取町大字大宮

熊取町内の盆踊りにはなくてはならない人。

伝承文化の継承を担って、ご家族で音頭取りから囃子までお一人お一人に伝えておられる河合さん。熊取町以外の地域からも音頭の依頼を受けておられ、毎年開催される泉佐野市新川家での催しでも活躍されている。熊取町公民館講座でも毎年「伝承横山音頭講座」を開講され、受講生の方が町民文化祭では受講の成果を披露され、お弟子さんもたくさん排出している。

日本文化の代表「畳」河合畳店の店主でもあり、35歳からは全関西郷土民謡協会の理事も務めておられ、公民館クラブでも民謡ファンを育成。泉州の文化伝承の懐刀的存在である。

